

事務事業名	官民連携による健康なコミュニティづくり可能性調査事業		所属部	政策企画部	所属課	政策推進課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉		所属G	チャレンジ創生G	課長名	鳥谷 健二
	施策名	〈20〉健康づくりの推進		担当者名	松蔭 佳子	電話番号	0854-40-1011 (内線) 2332
	目的: 対 象	市民	意 図	心身ともに健康で暮らす。			予算科目
	基本事業名	〈057〉地域ぐるみで取り組む健康づくり		会計	款	大事業	
目的: 対 象	市民	意 図	心身の健康に向けた取組ができる。			項	目
				0	1	1	0
				0	5	3	5
				0	1	0	1
				0	5	1	5
						中事業	中事業
						企業総務管理事業	企業総務管理事業
						官民連携による健康なコミュニティづくり可能性調査事業	官民連携による健康なコミュニティづくり可能性調査事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( R2 年度～ )
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
後期基本計画・第2期総合戦略でめざす「安心して暮らし続けられる地域の実現」を図るため、多様な関係者が協働しながら地域全体を支え合う体制づくりを進める。このため、幸雲南塾卒業生などが取り組む「おせっかい会議」と連携し、地域の中に「おせっかい」をする担い手を増やし、地域住民同士の互助をベースとした地域の支え合い体制を構築する。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R2年度実績 (R2年度に行った主な活動)	R3年度計画 (R3年度に計画する主な活動)				
	1. おせっかい会議の木次地区での実証 ・おせっかい会議の創設・運営 ・おせっかいの促進、実施 ・おせっかい会議参加者のスカウトと育成	1. おせっかい会議の木次・加茂・三刀屋地区での実証 ・おせっかい会議実施運営 ・おせっかい(地域内での互助活動)の促進、実施 ・おせっかい会議参加者(おせっかい人)のスカウトとおせっかい人の育成				
	2. 民間資金調達方法(ソーシャル・インパクト・ボンド)の検討と構築導入検討 金融機関や民間企業と連携し、行政負担を下げながら住民の幸福度と健康を促進するための手法として「ソーシャル・インパクト・ボンド」の活用を検討した。	2. ソーシャルインパクトモデル(SIB)の検討と構築 ・評価項目の設定 ・インパクト評価				
	② 活動指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
ア	おせっかい会議開催数	回			12	12
イ	おせっかい会議参加者数(延べ人数)	人			292	300
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)							
	市民	③ 対象指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)	
		ア	おせっかい会議新規参加者	人			50	50
		イ	おせっかい会議研修受講者	人			30	15
	ウ							
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)							
	「医療機関外での医療者への接触機会」と「孤独・不安・退屈の解消」が図られている状態	④ 成果指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)	
		ア	おせっかいメンバー登録者数	人			125	200
		イ	おせっかい案件	件			61	50
		ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)	
委託料 12,804千円(会議運営・人件費等)	事業費	財源内訳					
		国庫支出金	千円			6,402	9,520
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円			6,402	9,520
		一般財源	千円				
		事業費計 (A)	千円			12,804	19,040
人件費	正規職員従事人数	人				2	
	延べ業務時間	時間				1,000	
	人件費計 (B)	千円				4,208	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				17,012	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
R2年新規実施	R2年新規実施	本事業の活動により、「孤独感が減少」、「地域住民の互恵的な関係の構築」、「社会参加の頻度の向上」等の成果に繋がる事例が生まれている。また、本取組に関心を持つ市民が増えており、また市外からの反響も強く、UIターンにもつながっている。

### 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている    * 余地がある場合 →	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である    * 余地がある場合 →	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である    * 余地がある場合 →	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 R2は、木次地区で実証を行い、R3から三刀屋、加茂地区へ活動範囲をひろげ、R5から全市展開する予定。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 地方創生の柱として取り組む事業であるため。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある    * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名) 教育支援コーディネーター、生活支援コーディネーター、地域づくり担当職員 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 他に手段がない	理由 連携して実施することでより成果が見込める。ただし、それぞれの取り組みが多岐にわたることから、統廃合する場合は各事業の見直しを行う必要がある。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 最小限の予算配置により取り組んでいる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 最小限の人員配置により取り組んでいる。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 地域自主組織、社会福祉協議会等へ情報共有し、取組を進めている。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果 A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 役割や立場、地域を超え、さまざまな人たちが、まちを元気にしようというおせっかいをやくことで、孤独が解消したり、地域につながりをもつケースも出てきている。 R5年から全市展開に向け取り組んでいるが、多くの市民の巻き込みを図っており、市民の自主的な活動がエリアを超えて拡大する可能性もある。

### 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	② 改革・改善による期待成果																					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が自発的に、地域をよくしたい思いから活動を展開している。</li> <li>・参加者も、医療専門職や郵便局、美容院、介護支援事象者、地域の事業者等、立場を超えて集まり、地域をよりよくする取り組みを行っている。</li> <li>・本活動は、健康増進と介護予防の可能性にとまらず、孤独の減少や、喜びの向上、生活自体を市民同士が支え合う互恵性の向上などの可能性が実証されつつある。</li> <li>・本事業を全市展開へ拡大することと、事業継続を行うために、ソーシャルインパクトボンド(SIB)も検討と構築図る。</li> <li>・評価にあたっては、外部の支援組織とも連携し、持続可能なモデルとなるよう支援する。</li> </ul>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">           廃止・休止の場合は記入不要。            コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。         </p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		